

# ADDICTION NEWS

# 33

ニュースレター  
2020年6月30日発行  
日本アディクション看護学会事務局

 **日本アディクション看護学会**  
Japanese Society for Study in Addiction Nursing

## Topic

### 第19回日本アディクション看護学会学術集会にあたって 事務局からのお知らせ

#### 第19回日本アディクション看護学会学術集会 大会長 日下修一（聖徳大学看護学部）

日本アディクション看護学会第19回学術集会は2020年12月19日（土）・20日（日）の2日間、千葉県松戸市の聖徳大学で開催予定です。

千葉県松戸市は『野菊の墓』の舞台であり、様々な歴史的施設が存在しています。会場の聖徳大学から徒歩10分ほどの場所に戸定が丘歴史公園があり、公園内には水戸藩最後の藩主・徳川昭武が建てた戸定邸(国指定重要文化財)と庭園(国指定名勝)、徳川昭武と彼の兄徳川慶喜の資料を展示する戸定歴史館、お茶室の松雲亭があります。

また、松戸には江戸川を挟んで矢切（千葉県松戸市）と柴又（東京都葛飾区）を結ぶ矢切の渡し（大会ホームページの写真）があります。柴又は寅さんで有名な柴又帝釈天がある地域であり、東京と隣接している松戸を是非訪れてください。交通の便は常磐線快速を使えば、上野から20分、東京駅から25分ほどの距離です。

本大会のテーマは「アディクション看護介入の方向性」としました。IR法によるギャンブル依存症対策が法的に求められ、アディクション看護の介入方法についても検討する必要がある時期となっています。児童虐待は千葉県野田市の児童相

談所の対応に世間の注目が集まり、看護職、特に保健師のあり方、介入の方向性が社会的に求められていると思います。

薬物依存症については、様々な報道がなされている、現状があり、ハーム・リダクションなどの考え方が広がっている状況で、看護職に求められる介入も変化していると考えられます。アディクションからの回復について、看護職に何ができるのかということを知りたいと思い、特に、現場の皆様具体的な介入方法の実践報告を初め、ネット依存、スマホ依存など、新たな依存症看護の枠組みを構築していくためにも、様々なアディクション問題への介入について、参加者同士で報告・検討したいと思います。

本年は新型コロナ（COVID-19）が蔓延し、様々な学会が中止あるいは誌上開催、Web開催などに変更を余儀なくされています。本学術集会もそのような中で、何らかの対処を迫られる可能性があります。12月のことですから、現時点では何とも言いようがありませんが、場合によっては、2021年に延期する可能性があります（その場合、2021年12月18日・19日または11日・12日を候補

に考えております)。また、COVID-19 対策で、在宅勤務を強いられる研究者も多く、現場の方々は勤務が忙しくなり、そもそもなかなか研究をまとめる時間もないように思います。そうした点も含め、演題・交流集会の募集も遅めに設定し、9月25日締め切りとしております。

### ＜＜第19回学術集会のお知らせ＞＞

開催日：令和2年12月19日(土)・20日(日)

開催場所：聖徳大学（千葉県松戸市）

松戸駅より徒歩10分

大会テーマ（予定）：

「アディクション看護における看護介入の方向性～児童虐待・ギャンブル依存症・薬物依存症などへの看護介入のあり方」

予定しているプログラムとして、大会長講演、教育講演（1～2）、特別講演（1～2）、シンポジウム、演題発表（口演、示説）、交流集会（6～8）を予定しています。懇親会は12月19日夕刻、18：00～19：30を予定しております。詳細につきましては、今後、学会ホームページ等に公開して行きますので、ご確認願います。

（開催中止になる場合があります。）

### ＜＜事務局からのお知らせ＞＞

今年度は開始早々、新型コロナウイルスの影響で、医療施設にとどまらず社会全体が大変な事態にあります。感染防止のための外出自粛がもたしているアディクション問題も、今後さらに深刻になることが推察されます。

当学会では、それらの情報にアンテナを張りつつ、会員の皆様に情報を発信していきたいと思っております。今後とも当学会にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局長 丸山 昭子

### ＜＜ 編集後記 ＞＞

第19回学術集会のお知らせが遅くなりました。12月開催予定ですが、大会長からもありま

すように開催できるかどうか危ぶまれています。

不要不急の移動自粛要請の中「パチンコ」「アルコール」「覚せい剤使用」「ゲーム」「喫煙」「暴力」「自殺」などのアディクション関連のキーワードが、世間にこれまでないほどに溢れています。このような事態であるからこそ、アディクション問題を話し合う場が必要であると思っています。

しかし、COVID-19感染拡大防止のため、大きな学術集会は開催されず、Web開催になっています。Face to Faceでの会合ができないのがとても残念です。臨床、教育の場では、それぞれに大規模なFace to Faceにならないような行動変容を強いられています。

今は、アディクション看護にかかわる臨床、教育の場で、多くの事例を蓄積していただき、交流の場、学びの場に一同に会せる日まで自粛です。

ニュースレターは紙ベースでの発行ではなく、ホームページへのアップという新しい形になりました。インターネットに接続できる環境であれば、いつでも、どこでも、だれでも読むことができるようになりました。

前年度はニュースレターの発行が1回になりました。お詫び申し上げます。今年度も同様になるのを避けたいと思っています。

（荒木）

### ＜＜ 事務局住所 ＞＞

〒243-0124

神奈川県厚木市森の里若宮9の1  
松蔭大学看護学部 丸山昭子研究室内  
日本アディクション看護学会事務局

日本アディクション看護学会補助機関誌

発行：2020年6月30日

編集長：荒木とも子

発行者：丸山 昭子

日本アディクション看護学会事務局